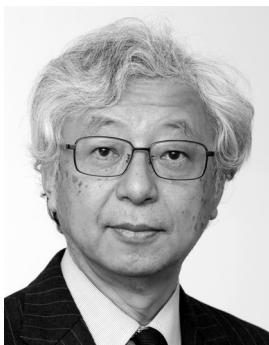


内外経済の動きについて

学習院大学国際社会科学部教授
伊藤元重

- * 世界を変えるのは経済の変化
- * WTOの機能低下には警戒
- * 余剰マネーがBRICs生む
- * 危機克服に苦しんだ欧州
- * 政治のグリップが支える中国
- * 需要は増えたが供給が不足
- * 常軌を逸した企業の貯蓄超過
- * 日本経済の新たな原動力
- * 世界経済のローカル化
- * 鍵はビジネストランスフォーメーション



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はおなじみの伊藤先生においでいただき
ました。少しさかのぼって考えますと、この経
済の状況について、例えばサブプライム問題で
世界がガタガタになった後、アメリカは大変な
状況でございましたが、ここではなくてほかに
伊藤先生のお話を伺ったことがあります。そ
の時に先生は、アメリカは皆さんが思っている
ほど悪い状況がずっと続くことはない、意外に
早くよくなるという話をされたのを覚えており
ます。いろんなことを言う方がおられますが、
経済の見通しについては、やはり伊藤先生のお
話はとても正鵠を射ていると思います。今日も
会場の入り口のところ伊藤先生が予告する日
本の将来の本を売っておりますので、今日のお

話がちょっと物足りないなど思った方はぜひお
願い求めてください。

政治の世界が大変騒がしくなってます。いま
が、経済の方は比較的順調にいらっています。
むしろ完全雇用下でいろんな問題がこれから出
てくるかもしれません。そういったことも含め
て、日本の将来について経済の側面から今日は
お話をいただけると思います。

それでは伊藤先生、よろしくお願いいたしま
す。（拍手）

伊藤 伊藤でございます。このところ毎年の
ようにここでお話をしている、今多少褒めてい
ただきました。実は本人は去年言ったことの
うちのどれだけが当たって外れているか、実は
戦々恐々としているのですが、めげずに今日も